

原子力防災訓練を実施しました

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 日時 | 令和5年2月11日(土) 7:00~18:00 | 主催 鹿児島県, 薩摩川内市, いちき串木野市, 阿久根市, 鹿児島市, 出水市, 日置市, 始良市, さつま町, 長島町 |
| 参加機関 | 約210機関(年度間※:約220機関) | |
| 参加者数 | 約3,500人(年度間※:約5,000人) | |

※年度間には, 令和4年度において2月11日以外に原子力防災訓練を行った学校等を含みます。

新たな取組

原子力防災アプリを活用した訓練

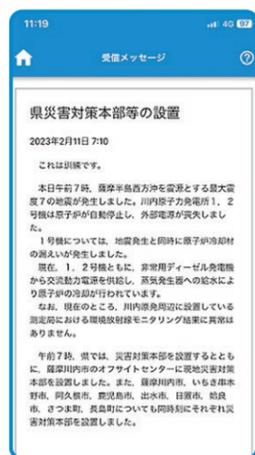
一時集合場所や避難所で
アプリのQRコードを読み
取って受付を行いました。



原子力災害時住民避難支援・円滑化システム



※スマートフォンをお持ちでない方には, 仮QRコードを発行・配布し, 受付を行いました。



通信連絡訓練では, 従来の緊急速報メールや
県ホームページ, Twitter等での広報に加えて,
原子力防災アプリによる広報(通知)を行いました。

★原子力防災アプリでは, お持ちのスマートフォンのGPS機能を使って, 現在地からの避難経路を確認することもできます!



訓練のポイント

- 原子力災害時住民避難支援・円滑化システム(原子力防災アプリなど)の活用
- 事故の進展に応じて, 県や関係市町, 関係機関が協働・連携し, 地域防災計画に基づき訓練を実施
- 新型コロナウイルス等の感染症流行下を想定した対策の実施

3年ぶりに住民も参加

避難所では住民向けに防災講習会を開催しました。



避難車両や避難する方の放射性物質による汚染状況を確認する避難退域時検査を行いました。



※避難退域時検査場所でも受付等に原子力防災アプリを活用しました。

住民の避難, 屋内退避を円滑に実施するために, 関係機関が緊密に連携して避難所の設置・運営訓練を実施しました。



ダンボールベット組立体験



健康相談窓口の設置



備蓄物資展示

県原子力専門委員会による視察

- 原子力防災アプリを含め, ITを使ったインフラ整備など, 総合的にレベルが上がっているという印象を受けた。
- 原子力防災アプリの進歩によって, 様々な情報を紙に記入する作業など特に一番時間が掛かる手続きを削減できることから, 避難の動きを加速させることができると感じられた。



令和4年度原子力防災訓練については, 県のホームページに掲載しています。

鹿児島県 令和4年度原子力防災訓練 検索



原子力防災アプリ

便利なアプリで 原子力災害に備えよう!

原子力防災アプリでは, こんなことができます

空間放射線量を確認!

最寄りの測定局の空間放射線量を確認!

どこでもすぐに避難経路を確認!

安全な避難経路を検索!

家族や友人の避難状況を確認!

家族や友人を登録することで確認可能!

避難に関する情報をすぐ受信!

自治体からの避難に関するお知らせを受信!

避難所などではQRコードで受付!

受付名簿への記入が不要に!



ダウンロードはこちらからどうぞ!



原子力防災



Android版



iPhone版